

個別施設計画

策定年月 | H31.1

施設名	倉敷商業高等学校		所在地	倉敷市白楽町545		
敷地面積	34,584.00 m ²		棟数	60 棟 (計画記載対象 15 棟)		
延床面積	15,373.41 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため					
【想定される自然災害】						
予想震度 <u>6弱</u> 津波 <u>—</u> 浸水 <u>1.0~2.0m未満</u>						
建築規制	市街化区域、第一種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%					
エネルギー使用量 (2017年度)	電気	ガス	水道	燃料(灯油)		
	443,227 kwh	5,031 m ³	7,154 m ³	600 ℓ		
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 倉敷市指定緊急避難場所・指定避難所(土砂災害、高潮、地震、津波)					

1 施設内建物の概況

名称	産振教室棟(107棟)22-2	松柏会館(111棟)40	体育館(120棟)38
築年(西暦)	1990年	1996年	2002年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄骨造 3階	鉄骨造 2階
建築面積	365.06 m ²	182.28 m ²	1,494.70 m ²
延床面積	365.06 m ²	546.84 m ²	1,723.28 m ²
主要な用途(室名等)	電子計算機室 準備室	茶室 ホール 大会議室	体育館
主要な設備(屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備	-	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※2 ※耐震診断済のみ	圧縮強度		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況(劣化が進んでいるもの)	屋根 外壁 消火設備	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	格技場(42棟)21-1	格技場(42-2棟)21-2	教室棟(46棟)9-1
築年(西暦)	1982年	1982年	1965年
構造	鉄骨造 2階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	378.45 m ²	381.25 m ²	159.91 m ²
延床面積	378.45 m ²	381.25 m ²	479.72 m ²
主要な用途 (室名等)	格技場	格技場	普通教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備)	消防設備(自動火災報知設備)	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	普通教室棟(53棟)10-1	普通教室棟(54棟)10-2	本館、特別教室棟(55棟)10-3
築年(西暦)	1970年	1971年	1972年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	274.40 m ²	207.76 m ²	523.84 m ²
延床面積	1,106.42 m ²	831.04 m ²	1,990.27 m ²
主要な用途 (室名等)	普通教室	普通教室 進路指導室 自習室	校長室 会議室 図書室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	-	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	産振教室棟(66棟)16-1	特別教室棟(68棟)17-1	教室棟(70棟)17-2
築年(西暦)	1974年	1975年	1976年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	572.87 m ²	254.78 m ²	101.71 m ²
延床面積	1,718.62 m ²	1,059.08 m ²	406.84 m ²
主要な用途 (室名等)	国際経済教室 英語実務教室 商品実験教室	多目的室 食物教室 物理教室	普通教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	消火設備	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	産振教室棟(72棟)16-2	合宿所、食堂棟(87棟)20	産振教室棟(90棟)22-1
築年(西暦)	1976年	1967年	1983年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	532.45 m ²	250.38 m ²	366.21 m ²
延床面積	532.45 m ²	515.30 m ²	1,096.70 m ²
主要な用途 (室名等)	商業実践教室 事務機械教室	食堂 厨房 購買	簿記実習室 商事实習室 タイプライティング実習室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備	-	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	消火設備	該当なし	屋根 外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
産振教室棟(107棟) 22-2	予防保全を図る。
松柏会館(111棟)40	予防保全を図る。
体育館(120棟)38	予防保全を図る。
格技場(42棟)21-1	・長寿命化改修を行う。 ・設備等の定期更新を行う。
格技場(42-2棟)21-2	・長寿命化改修を行う。 ・設備等の定期更新を行う。
教室棟(46棟)9-1	設備等の定期更新を行う。
普通教室棟(53棟)10-1	長寿命化改修を行う。
普通教室棟(54棟)10-2	長寿命化改修を行う。
本館、特別教室棟(55棟)10-3	長寿命化改修を行う。
産振教室棟(66棟)16-1	長寿命化改修を行う。
特別教室棟(68棟)17-1	長寿命化改修を行う。
教室棟(70棟)17-2	長寿命化改修を行う。
産振教室棟(72棟)16-2	長寿命化改修を行う。
合宿所、食堂棟(87棟) 20	設備等の定期更新を行う。
産振教室棟(90棟)22-1	設備等の定期更新を行う。

3. 施設全体のスケジュール (概要)

1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
2 長寿命化改修
屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。
(42棟、42-2棟)2023年度以降設計・施工
(53棟、54棟、55棟)2019年度設計・2020年度以降施工
(66棟、68棟、70棟、72棟)2021年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
産振教室棟 (107棟)22-2	予防保全		予防保全を図る。								
松柏会館(111棟)40	予防保全		予防保全を図る。								
体育館(120棟)38	設備等の定期更新									LED	
格技場(42棟)21-1	長寿命化改修										設計・施工 1
	設備等の定期更新									LED	
格技場(42-2棟)21-2	長寿命化改修										設計・施工 42棟に含
	設備等の定期更新									LED	
教室棟(46棟)9-1	設備等の定期更新									LED	
普通教室棟(53棟)10-1	長寿命化改修			設計	施工 9						
普通教室棟(54棟)10-2	長寿命化改修			設計	施工 53棟に含						
本館、特別教室棟(55棟)10-3	長寿命化改修			設計	施工 53棟に含						
産振教室棟(66棟)16-1	長寿命化改修									設計・施工 4	
特別教室棟(68棟)17-1	長寿命化改修									設計・施工 4	
教室棟(70棟)17-2	長寿命化改修									設計・施工 4	
産振教室棟(72棟)16-2	長寿命化改修									設計・施工 4	
合宿所、食堂棟(87棟)20	設備等の定期更新								給排水		
産振教室棟(90棟)22-1	設備等の定期更新									LED	

4. 概算費用

総額 15億円(長寿命化改修等)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R7.3	教室棟(46棟)、産振教室棟(90棟)、食堂棟(87棟)、格技場(42,42-2棟)及び体育館(120棟)において、設備等の定期更新を追加 産振教室棟(66・72棟)、特別教室棟(68棟)及び教室棟(70棟)において長寿命化改修のスケジュール変更
R8.3	格技場(42,42-2棟)において、長寿命化改修のスケジュール変更